

目標達成計画

作成日：平成31年1月18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人理念、グループホームきらめきの理念が職員に周知されていない。法人理念に沿っていない。	全職員が理念の意味が理解でき、暗唱できる	法人理念に沿ったサービスの向上や地域の一人としての役割もある事を職員に周知させ理念を変更する。ミーティング等で職員で唱えるようにする。	6ヶ月
2	3	地域へ貢献できていない。	施設を開放し、介護施設はどんなところかを知って頂く。	非常食試食会や夏祭り等のイベントの近隣住民を招待する。認知症カフェの計画、準備をする。できれば介護の日付近でオープンを目指す。	12ヶ月
3	27	個別に記録する方法が職員に周知できていない。	入居者様の言動に関心を持ち気づきや関わりを記録に残しチームで共有できる。	気づきや関わりをモバイル入力することを意識付ける。日中、最低一つは気づきや関わりが入力できるようチェック表に項目を作る。	6ヶ月
4	45	週2回の入浴や施設都合で時間も決まってお入り入浴して頂いている。	個々の希望に添った入浴支援ができる。	毎日入りたい方、週3回の方、好みの湯温等、アンケートを実施し、入居者様の希望に添える入浴を検討、実施する。	3ヶ月
5	49	個別レクができていない。	一人ひとりの希望に添った支援ができる。	誕生日月に1対1でご本人様の行きたいところへ外出する。外出したくない方は意向を聞き取る。困難な方は家族に聞き取る。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。